

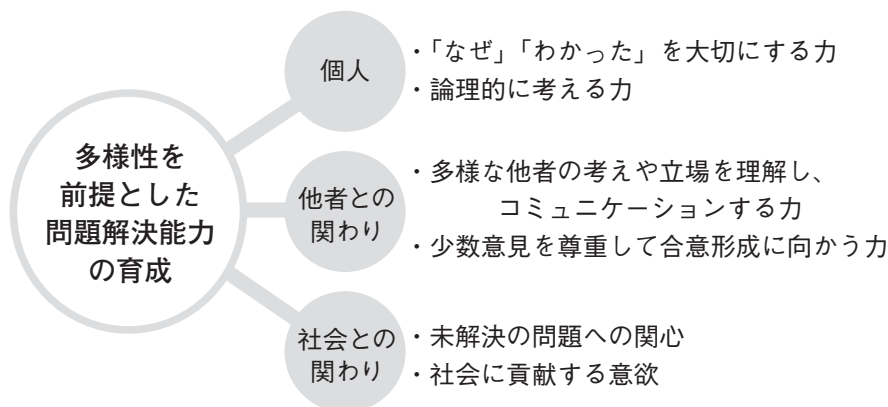
編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
30 - 155	小学校	国語	国語	5
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
11 学図	国語 503	みんなと学ぶ	小学校 国語	五年 上
	国語 504	みんなと学ぶ	小学校 国語	五年 下

I 編修の基本方針

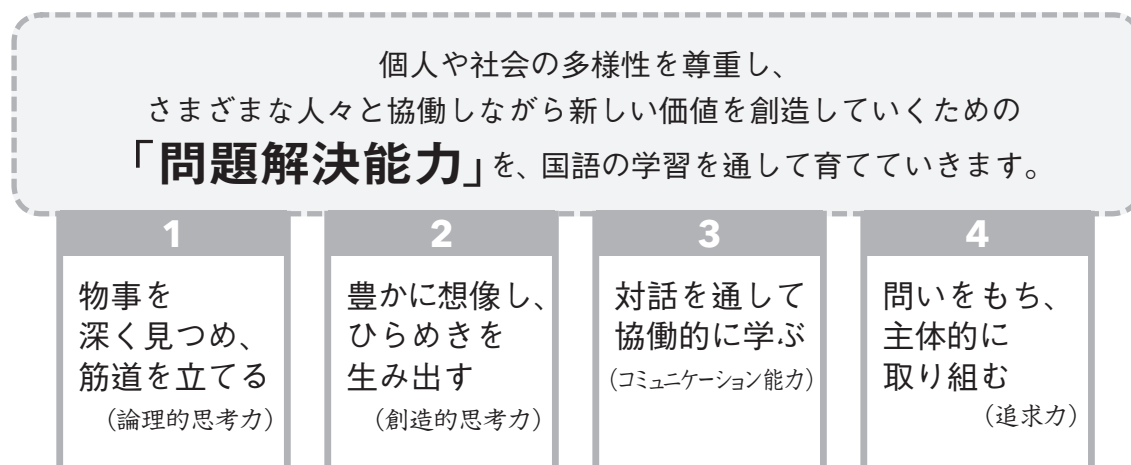
私たちは、共通の編修理念に基づき、育てたい資質・能力を以下のようにとらえました。



教育基本法第2条に示された教育の目標を達成するため、この教科書では上記の理念を取り入れ、次のような基本方針を掲げました。

「言葉と深く関わり、新しい世界を切りひらく」

言葉と深く関わり、没頭しながら、目の前の課題を踏み越えることができた時、子どもたちはこれからの社会を生きるための「確かな言葉の力」を身につけることができます。言葉の力を獲得し、自信と希望をもって新しい課題に挑戦する子どもたち。そのような姿を思い描き、教科書を編修しました。

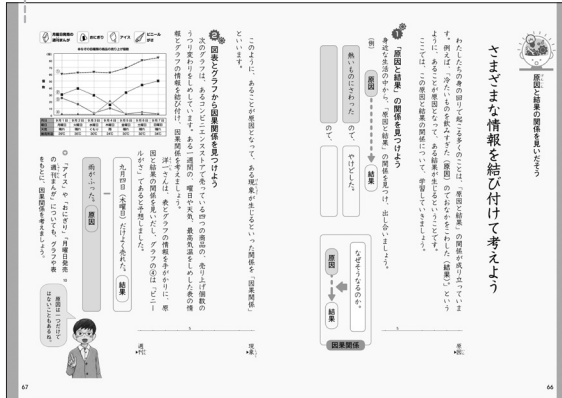


この教科書では、問題解決能力を育成すべく、その支えとなる力を4つに分けて整理しました。

1 物事を深く見詰め、筋道を立てる

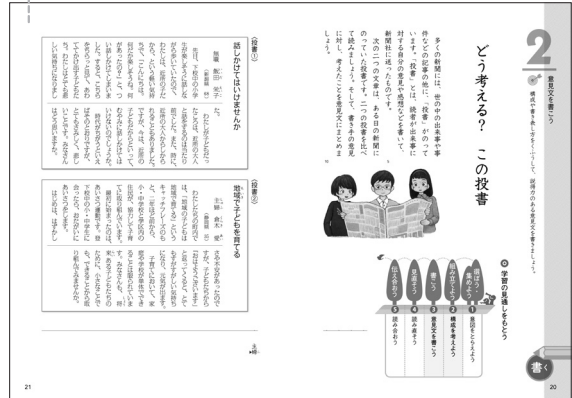
対象を言葉で理解・表現し、物事を論理的に解釈する力を育成することで、幅広い知識と教養を身に付けられるようにしています。また、思考操作の方法をメタ認知することにより考えの深化を促し、真理を求める態度や自主及び自律の精神を養います。

身の回りて起こる事象の「原因」と「結果」の関係を見つけ、既存の知識や経験をもとに物事を分析的にとらえます。



「さまざまな情報を結び付けて考えよう」(上巻 P66・67)

新聞の投書を読み、自分の考えをもちます。書き手の意見に対する自分の考えを、根拠と理由を明確にして、筋道の通った説得力のある意見文にします。

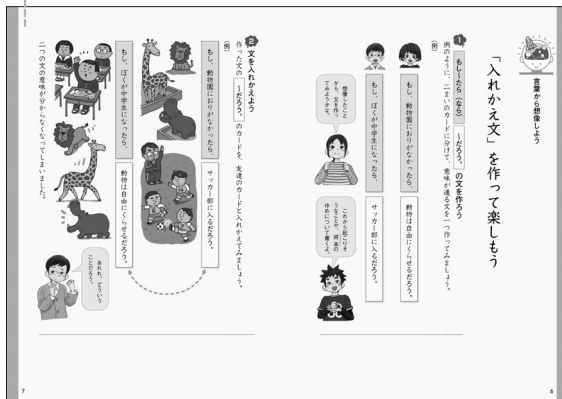


「どう考える？ この投書」(下巻 P20・21)

2 豊かに想像し、ひらめきを生み出す

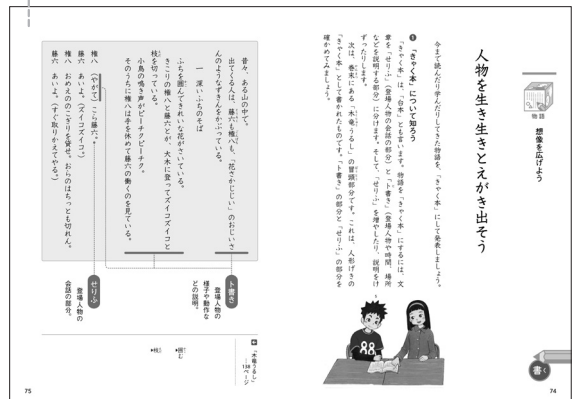
豊かに想像したり、思考を再構成して捉え直したりすることでその能力を伸ばし、情操を豊かにするとともに、既存の認識にとらわれない新しい価値を生み出すための創造性を培います。

二つの文を入れ替えることで起きた、論理の途切れ目を埋めるために、想像をふくらませて文を補う活動を行います。結びつかないものをつなげる思考活動により、新しい知を生み出すための創造力を育てます。



「『入れかえ文』を作って楽しもう」(下巻 P6・7)

物語の脚本作りを行います。登場人物の人物像や場面の様子を思い描き、その状況にあった台詞やト書きを書く活動を通して、物語を豊かに想像して読む力や、表現力を育てます。

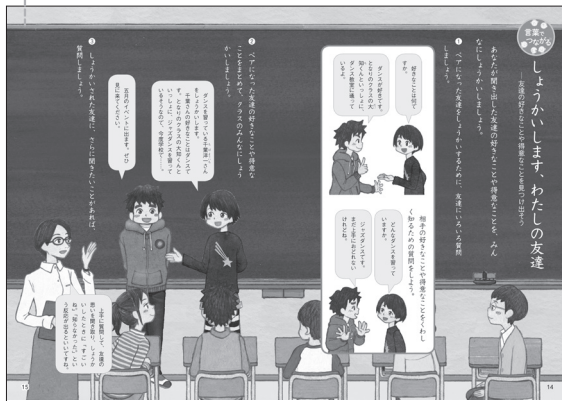


「人物を生き生きとえがき出そう」(上巻 P74・75)

3 対話を通して協働的に学ぶ

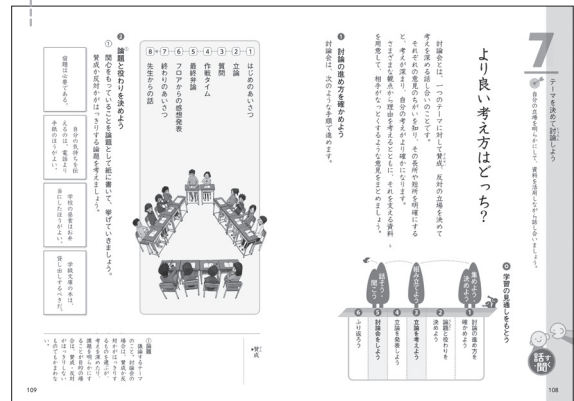
考えや立場の多様性を理解し、言葉を介して協働するための学習基盤を作っていくことで、個人の価値を尊重し、主体的に社会の形成に参加する態度を養います。また、活動目的を明確にし、互恵的な集団思考の有用性を図ることで、自他の敬愛と協力を重んずる態度や、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養います。

● 友達に好きなことや得意なことを質問し、クラスのみんなに紹介する活動を行います。話し合いのルールを学ぶとともに、学習集団にとって大切な親和的な雰囲気を築きます。



「しょうかいます、わたしの友達」 (上巻 P14・15)

● 子どもたちにとって身近な「給食」をテーマに討論会を行います。多様な考えを受容し、考えを深めていくための「話を展開する力」を身に付けます。

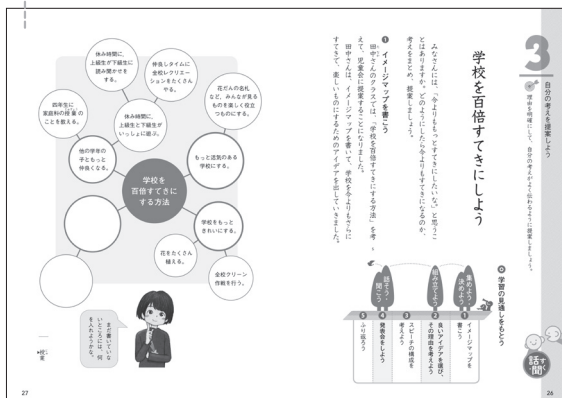


「より良い考え方はどっち？」 (下巻 P108・109)

4 問いをもち、主体的に取り組む

自ら課題を発見し、それを解決していくためのプロセスを構築する力を育てていくことで自主及び自律の精神を養います。また、積極的に課題に関わり、考え、判断し追求していくことで、主体的に社会の形成に参画する態度を養います。

● 学校を素敵にするにはどうしたらよいか考え、積極的にアイデアを出し合います。アイデアを実行させたいという思いをもって意欲的にスピーチすることで、主体的な態度を育てます。



「学校を百倍すてきにしよう」 (下巻 P26・27)

● 普段何気なく使っている日本語に目を向け、疑問をもったことを調べてレポートにまとめます。調べて分かる面白さを実感することで、さらに調べたい意欲がわき、次なる疑問につながっていきます。



「言葉について調べよう」 (下巻 P70・71)

II 対照表

【上巻】

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
巻頭 今日からはじまる	詩を声に出して読むことで、豊かな情操と道徳心を培えるようにしました（第1号）。	表紙2～P1
本編 文の構造 和語・漢語・外来語 複合語 敬語 方言と共通語 漢字の広場1・2 言葉をつないで文を作ろう①・②・③	文の構造や漢字、敬語、方言など、言葉の特徴や使い方について学習することで、幅広い知識と教養を身に付けるようにしました（第1号）。 言葉や文に着目し、読んだり書いたりすることで、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばすとともに、自主及び自律の精神を養えるようにしました（第2号）。	P38～39 P40～42 P64～65 P72～73 P128～130 P78・104 P43・69 ・105
さまざまな情報を結び付けて考えよう	身の回りの事象を原因と結果の関係で考える活動を通して、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるようにしました（第1号）。	P66～68
宇治拾遺物語 季節のたより：春・夏 物語の人物が答えます ／注文の多い料理店	古典を読んで昔の人のものの見方に触れたり、言葉から季節を感じたりすることで、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養えるようにしました（第5号）。 登場人物になりきるゲームを通して自立的に読書活動を進めていくことで、その能力を伸ばし、創造性を培うとともに、自主及び自律の精神を養えるようにしました（第2号）。	P120～125 P36～37・ P70～71 P79～97
働く人にインタビュー	働くということをテーマにしたインタビュー活動を通して、職業との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うとともに、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるようにしました（第2・3号）。	P60～63
しょうかいします、わたしの友達 親しみを表現しよう	友達の良いところを見つけるために質問をし合ったり、日常の関わりの中で友達に親しみを感じる出来事を出し合ったりする活動を通して、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、主体的に社会の形成に参画する態度を養えるようにしました（第3号）。	P14～15 P126～127
自分だけのノートを作ろう	自分だけのノートを作るために、自分の考えや、友達との交流を通して気付いたことを書き留めることで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるようにしました（第1号）。	P34～35
手紙の書き方	時候の挨拶から書き始めるなど手紙の形式に従って、伝えたいことを書く活動を通し、個人の価値を尊重し、主体的に社会の形成に参画する態度を養えるようにしました（第2・3号）。	P58～59
人物を生き生きとえがき出そう	物語を脚本にする創作活動により、場面の様子や人物像を豊かに想像することで個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培えるようにしました（第2号）。	P74～77
みちくさ レモン／し	お話や詩を読み、人の心などの美しいものや気高いものに触れ、豊かな情操と道徳心を培えるようにしました（第1号）。	P16～33 P100～103
東京スカイツリーのひみつ わたしたちとメディア／インター ネット・コミュニケーション	説明文を読み、先人の知恵を生かした日本の建設技術や、世界中とつながるネット環境の現状を知り、伝統と文化を尊重するとともに、国際社会の発展に寄与する態度を養えるようにしました（第5号）。	P46～57 P106～119
「年鑑」を使って調べよう	年鑑を使って調べる活動を通し、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるようにしました（第1号）。	P44～45
巻末 インターネットを活用して情報が さがそう 木竜うるし（人形劇） 和紙の心 言葉の部屋	インターネット検索の仕方を学んだり、思考を促す語彙を確かめたりすることで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度や主体的に社会の形成に参画する態度を養えるようにしました（第1・3号）。 人形劇の脚本や日本の伝統の和紙についての説明文を読むことで、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養えるようにしました（第5号）。	P136～137 P138～151 P152～157 P172

【下巻】

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
巻頭 紙風船	詩を声に出して読むことで、豊かな情操と道徳心を培えるようにしました（第1号）。	表紙2～P1
本編 動作の状態や意味をくわしくする 言葉 漢字の音読みと訓読み 日本語の文字の歴史 「入れかえ文」を作って楽しもう 漢字の広場1・2 言葉をつないで文を作ろう①・②・③	文の構成や漢字など、言葉の特徴や使い方、歴史について学習することで、幅広い知識と教養を身に付けられるようにしました。（第1号）。 入れ替えた文の論理の途切れ目を想像をする活動を通して、言語感覚を豊かにし創造性を培えるようにしました（第2号）。 言葉や文に着目し、読んだり書いたりすることで、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばすとともに、自主及び自律の精神を養えるようにしました（第2号）。	P52～53 P86～89 P116～117 P6～8 P32・118 P33・81 ・119

文語詩 やしの実 季節のたより：秋・冬 なぜ本を読むのか	文語詩を読み、四律拍が作る五七調のリズムを味わったり、日本人が大切にしてきた季節を感じる言葉に触れたりすることで、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養えるようにしました(第5号)。読書の意義を学び多読へ向かうことで、豊かな情操と道徳心を培えるようにしました(第1号)。	P82～85 P16～17・ 58～59 P54～55
学校を百倍すてきにしよう	学校がより良くなるように、自分が考えた提案を発表する活動を通して、自律の精神を養い、自他の敬愛を重んずるとともに、主体的に社会の形成に参画する態度を養えるようにしました(第2・3号)。	P26～31
より良い考え方はどっち?	必要な情報を集め、立場を決めて討論する活動を通して、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるようにしました(第3号)。	P108～115
文章の構成を知ろう どう考える? この投書 言葉について調べよう	文章構成の型や説得力のある意見文の書き方を学んだり、何気なく使っている日本語を調べてまとめたりする活動を通して、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるようにしました(第1号)。	P18～19 P20～25 P70～75
俳句・短歌を作ろう	俳句や短歌の創作活動を通して適切な表現を考えたり、自他の感性を比べたりすることで、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培えるようにしました(第2号)。	P48～51
五年生をふり返って	一年間の学びをふり返り、今後の学習に生かそうとすることで、主体的に社会の形成をし、その発展に寄与する態度を養えるようにしました。(第3号)。	P122～124
勇気の花がひらくとき ゆず 大造じいさんとがん 小さな質問	伝記を読み、人物像を思い描いたり、自分の生き方を考えたりすることで、真理を求める態度を養うとともに、主体的に社会の形成に参画する態度を養えるようにしました(第1・3号)。物語や詩を読み、人の心などの美しいものや気高いものに触れ、豊かな情操と道徳心を培えるようにしました(第1号)。	P34～47 P76～80 P90～107 P120～121
新聞の情報を読み取ろう 「一本」から見える数え方の世界	新聞記事の特徴を知り、編集者の意図を捉えたり自分の考えを深めたりすることで、主体的に社会の形成し、その発展に寄与する態度を養えるようにしました。(第3号)。説明文を読み、助数詞をきっかけにももの見方を広げていくことで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるようにしました(第1号)。	P9～15 P60～69
巻末 バスに乗って トロッコ電車で行く黒部きょうこく	物語や詩を読み、人の心などの美しいものや気高いものに触れ、豊かな情操と道徳心を培えるようにしました(第1号)。説明文を読み、風景の美しさを生かした観光鉄道の存在を知ることで、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養えるようにしました(第4号)。	P132～143 P144～149

Ⅲ 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

教育基本法第5条第2項及び学校教育法第21条に則り、以下の工夫をしました。

● 伝統と文化を尊重し、郷土愛と異文化を理解する態度を養います。

- ・ 文語詩の誕生秘話を知りイメージを浮かべて読んだり、短歌や俳句を作ったりすることで、日本の文化に親しむよう配慮しています。
- ・ 日本人が育んできた季節を感じる言葉や暮らしに関わる言葉を扱い、日本の文化や地域の文化を尊重する態度を養います。

● 働くことの尊さや家族の役割に気付くよう配慮しています。

- ・ 伝記を読み、信念をもって仕事を続けることの大切さに気付かせるようにするとともに、昼食をお弁当にすることが望ましいかどうかを討論する活動を通して、料理を作る人の心に目を向け、家族への感謝の気持ちが生えるようにしています。

● 自然を大切に作る心を育てます。

- ・ 黒部峡谷の大自然を題材にした読み物教材を掲載し、自然や環境保護への意識を持てるようにしています。

● インクルーシブ教育、ユニバーサルデザインに配慮しています。

- ・ 文字の大きさ、書体(書き文字に近いフォント)、囲みや罫線による地の文との区別、色使いなどのレイアウトを工夫し、判読しやすくしています。

● 読書習慣を身に付け、生涯にわたって本に親しむ態度を育てます。

- ・ 本を見つけるための手掛かりとなるよう図書紹介のページを設け、読書への意欲と興味を喚起するようにしています。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
30 - 155	小学校	国語	国語	5
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
11 学図	国語 503	みんなと学ぶ	小学校 国語	五年 上
	国語 504	みんなと学ぶ	小学校 国語	五年 下

I 編修上特に意を用いた点や特色

○編修の基本方針

「深く考え、共感し、しなやかに生きる」

グローバル化が進展し先の読めない社会の中で、予測を超えた課題に向き合い、これからの未来をどう切りひらいていくか。

言葉と深く関わり、没頭しながら、目の前の課題を踏み越えることができた時、子どもたちは社会を生きるための確かな言葉の力を身につけることができます。

言葉の力は生きる力そのものです。みんなとともに一步一步、言葉の力を獲得し、自信と希望をもって新しい課題に柔軟に対応する子どもたち。そのような姿を思い描き、子どもたちの明るい未来へのスプリングボードとなる教科書をめざしました。

【めざす子ども像】

自ら学び、追求し、深く考え、自分の言葉で発信する姿。

互いの立場や考えを尊重し、対象を言葉で伝え合うことで自分の考えを確かめ、新たな価値の発見や考えの更新を実感する姿。

必要な情報を見極め、課題解決に向けて意思決定や行動選択のできる姿。



日本人としての感性や情緒を育むとともに、さまざまな文化や考え方の多様性を理解し、他者と協働していく姿。

【みんなと学ぶ 小学校 国語の特色】

何を学ぶか

どのように学ぶか

何ができるようになるか

つきたい力を明確にし、対象と主体的に関わり、言葉による見方や考え方を働かせることで、確かな言葉の使い手となる能力を育てます。

特色 ① 確かな言語能力を育成します。

特色 ② 見通しをもって取り組むことで、学びの自覚化を促します。

特色 ③ 学ぶ意欲を喚起し、豊かな情操を育みます。

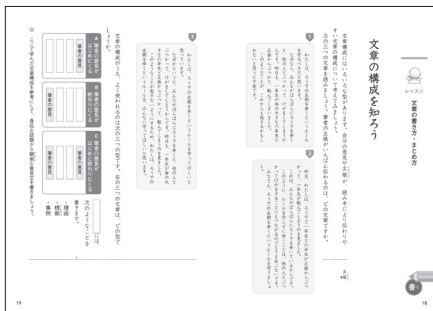
特色 ④ 対話の質を高め、多様な考えを受容する「共感力」を培います。

特色 1

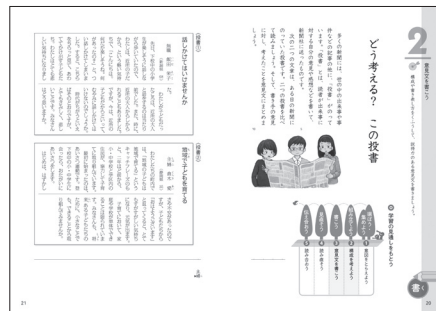
確かな言語能力を育成します。

言葉に着目し言葉で考える機会を設けることで、国語の基礎・基本を積み上げていきます。また、教材どうしを関連させることで系統性をもたせ、学習を繰り返しながら理解を深め、資質・能力の定着を図ります。

- 文章構成の型を学び、読み手に伝えるための効果を考えたうえで、説得力のある意見文の組み立て方を学びます。教材どうしを関連させることにより、基礎的な国語の力を身につけることができます。必要な技能を少しずつ積み上げていく中で、深い学びの土台を築きます。

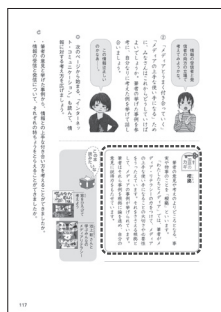


「文章の構成を知ろう」(下巻 P18・19)

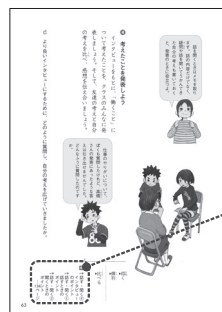


「どう考える?この投書」(下巻 P22・23)

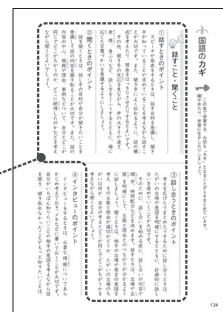
- 学習に必要な技能や、言葉による見方や考え方を働かせて言語活動を進めていくためのヒントをまとめています。〈読むこと〉では「学習のてびき」に、〈話すこと・聞くこと〉や〈書くこと〉では巻末資料にリンクさせ提示しています。これらが深い学びの“鍵”となります。



「わたしたちとメディア」(上巻 P117)



「働く人にインタビュー」(上巻 P63)



「国語のカギ」(下巻 P134)

特色 2

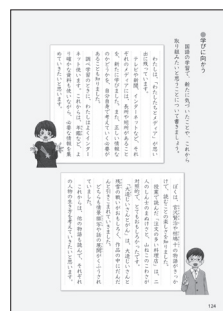
見通しをもって取り組むことで、学びの自覚化を促します。

学年の最初に、その学年でつきたい力を一覧で示し、1年間の学習内容を確認できるようにしています。また、学年末には、1年間の学習をふり返り、達成感を味わわせ今後の学びへの意欲づけができるようにしています。

- 上巻冒頭での、両観音開きのダイナミックな紙面と上質なイラストが、国語学習の世界へ誘います。下巻の最後で自身の学びをふり返り、自分の思いや考えを書きます。



「五年生でつきたい力」(上巻 P 7～10)



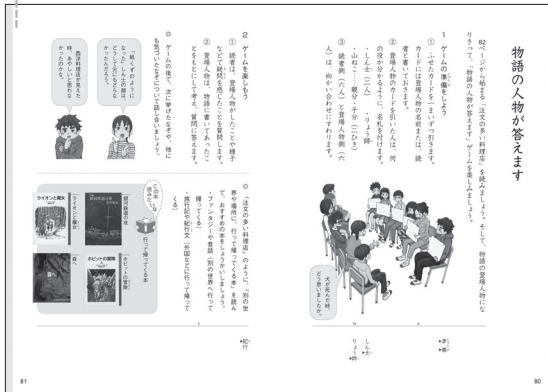
「五年生をふり返って」(下巻 P124)

特色 3

学ぶ意欲を喚起し、豊かな情操を育みます。

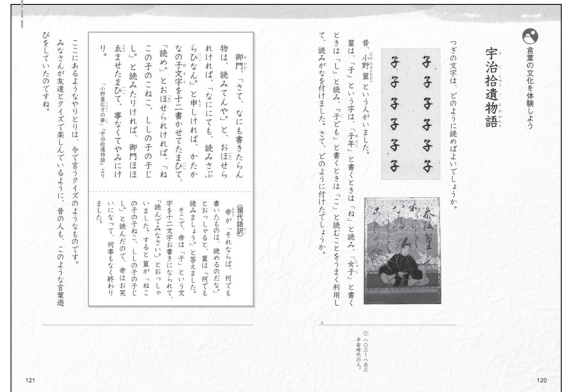
子どもたちが「やってみたい!」と色めき立つような、魅力的な言語活動を設定しています。また、言葉が醸し出す味わいを感覚的にとらえ、豊かに想像することで言語感覚を磨けるようにしています。

物語の登場人物になりきって、友達と交流しながら読み進めていきます。自発的な活動により、自ら学び方を獲得することで、新たな学習につなげるための意欲を喚起します。



「物語の人物が答えます」(上巻 P80・81)

古典を読み、昔の人のものの見方や感じ方、おもしろさの普遍性をとらえ、日本人に連続と受け継がれてきた伝統的な表現の豊かさに親しむことができます。



「宇治拾遺物語」(上巻 P120・121)

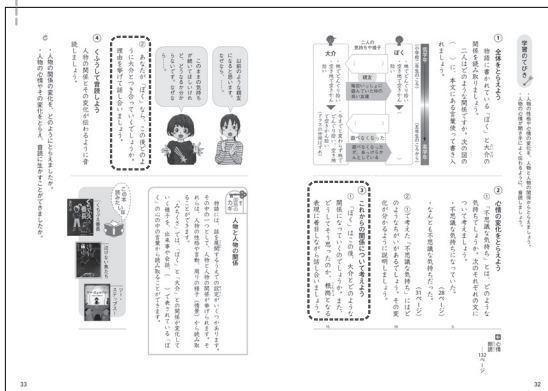
特色 4

対話の質を高め、多様な考えを受容する「共感力」を培います。

対話により、話す力と聞く力を相互に関係づけながら、多様な考えを共感的に受け止めることで、自らの思考の深化や変容を促すとともに、教室内のコミュニケーションを円滑にします。

〈話すこと・聞くこと〉の教材のみならず、〈書くこと〉や〈読むこと〉の教材でも、対話的な「学び合い」を通して、互いの理解を深められるようにしています。また、共有の場面は単元の最後だけでなく、学習活動において常に共有を意識することで、自分の思考過程をふり返り、自分の思いや考えを確かめられるようにしています。

物語教材では、読解のプロセスに応じて、適宜考えを共有し、読みを深めていきます。学び合いにより「なるほど!」と納得したり、「どうして?」と考えたりすることが真の理解につながります。



「みちくさ」(上巻 P32・33)

書く活動においては、さまざまな過程で話し合いの場を設定しています。友達の発言を肯定的に受け止め、自分の考えと比較することで新たな価値を創造したり考えを再構成したりしていきます。



「言葉について調べよう」(下巻 P70・71)

Ⅱ 対照表

【上巻】

図書の構成・内容	学習指導要領の内容		該当箇所	配当 時数	※
	1 知識及び技能	2 思考力、判断力、表現力等			
今日からはじまる	(1)ク, ケ	C (1)エ	p①～1	1	
しょうかいします, わたしの友達	(1)ア	A (1)ア, エ, (2)イ	p14～15	2	
みちくさ	(1)ケ, (2)イ	C (1)イ, オ, (2)イ	p16～33	4	
自分だけのノートを作ろう	(1)ウ	B (1)オ	P34～35	1	
季節のたより (春)	(1)オ, (3)ア		P36～37	1	(1)オ
言葉のきまり 1 文の構造	(1)カ, エ		P38～39	1	
言葉のいずみ 1 和語・漢語・外来語	(1)オ, (3)ウ		P40～42	1	
言葉をつないで文を作ろう 1	(1)エ	B (1)オ	P43	1	
「年鑑」を使って調べよう	(2)ア, (3)オ	C (1)ウ, (2)ウ	P44～45	2	(1)イ
東京スカイツリーのひみつ	(1)カ, (2)ア, イ	C (1)ア, ウ	P46～57	5	
手紙の書き方	(1)ア, イ, キ	B (1)イ, オ	P58～59	3	(1)ア
働く人にインタビュー	(1)ア, キ, (2)イ	A (1)ア, エ, (2)イ	P60～63	8	
言葉のいずみ 2 複合語	(1)オ		P64～65	1	
さまざまな情報を結び付けて考えよう	(2)ア	C (1)ウ	P66～68	2	
言葉をつないで文を作ろう 2	(1)エ	B (1)オ	P69	1	
季節のたより (夏)	(1)オ, (3)ア		P70～71	1	(1)オ
言葉のきまり 2 敬語	(1)キ		P72～73	1	
人物を生き生きとえがき出そう	(1)カ, ケ	B (1)ウ, カ	P74～77	8	
漢字の広場 1	(1)エ		P78	1	
物語の人物が答えます ／注文の多い料理店／読書の部屋	(3)オ	C (1)エ, オ, カ, (2)イ	P79～99	4	
レモン／し	(1)ク, ケ	C (1)エ, カ, (2)イ	P100～103	2	
漢字の広場 2	(1)エ		P104	1	
言葉をつないで文を作ろう 3	(1)エ	B (1)オ	P105	1	
わたしたちとメディア／インターネット・ コミュニケーション	(1)オ, カ	C (1)ア, ウ, カ, (2)ア	P106～119	4	
宇治拾遺物語	(3)ア, イ		P120～125	3	(1)オ
親しみを表現しよう	(1)ア	A (1)イ, オ	P126～127	2	(1)ア
言葉のいずみ 3 方言と共通語	(3)ウ		P128～130	2	

【下巻】

図書の構成・内容	学習指導要領の内容		該当箇所	配当 時数	※
	1 知識及び技能	2 思考力、判断力、表現力等			
紙風船	(1)ク, ケ	C (1)エ	p①～1	1	
「入れかえ文」を作って楽しもう	(1)オ, カ	B (1)カ	p6～8	2	
新聞の情報を読み取ろう	(1)カ	C (1)ウ, オ, (2)ア, ウ	p9～15	5	(2)
季節のたより (秋)	(1)オ, (3)ア		P16～17	1	(1)オ
文章の構成を知ろう	(1)カ	B (1)イ	P18～19	2	
どう考える? この投書	(1)カ	B (1)イ, ウ, オ, (2)ア	P20～25	8	
学校を百倍すてきにしよう	(1)ア, カ, (2)イ	A (1)ア, イ, ウ, (2)ア	P26～31	8	
漢字の広場 1	(1)エ		P32	1	
言葉をつないで文を作ろう 1	(1)エ	B (1)オ	P33	1	
勇気の花がひらくとき	(1)カ, ケ	C (1)エ, オ, カ, (2)イ	P34～47	4	
俳句・短歌を作ろう	(1)オ	B (1)ア, カ, (2)イ	P48～51	6	
言葉のきまり 1 動作の状態や意味をくわしくする言葉	(1)オ, カ		P52～53	1	
なぜ本を読むのか/読書の部屋	(1)オ		P54～57	1	
季節のたより (冬)	(1)オ, (3)ア		P58～59	1	(1)オ
「一本」から見える数え方の世界	(1)オ, カ, (2)イ	C (1)ア, ウ, オ,	P60～69	4	
言葉について調べよう	(1)オ, カ	B (1)ア, エ	P70～75	8	
ゆず	(1)オ, ク	C (1)イ, エ	P76～80	2	
言葉をつないで文を作ろう 2	(1)エ	B (1)オ	P81	1	
文語詩 やしの実	(3)ア, イ		P82～85	2	(1)オ
言葉のいずみ 1 漢字の音読みと訓読み	(1)エ, (3)ウ		P86～89	2	
大造じいさんとがん	(1)オ, ク	C (1)イ, エ, オ, カ	P90～107	6	
より良い考え方はどっち?	(1)ア, オ	A (1)ア, ウ, エ, オ, (2)ウ	P108～115	6	
言葉のいずみ 2 日本語の文字の歴史	(3)ウ		P116～117	1	
漢字の広場 2	(1)エ		P118	1	
言葉をつないで文を作ろう 3	(1)エ	B (1)オ	P119	1	
小さな質問	(1)エ	C (1)カ, (2)イ	P120～121	1	
五年生をふり返って	(1)ウ	B (1)ア	P122～124	2	

表内の記載は重点項目のみを示しています。

<備考>

- ・ 1 知識及び技能
 - (1)言葉の特徴や使い方に関する事項
 - (2)情報の扱い方に関する事項
 - (3)我が国の言語文化に関する事項
- ・ 2 思考力、判断力、表現力等
 - A 話すこと・聞くこと
 - B 書くこと
 - C 読むこと

※には「2 内容の取扱いについての配慮事項」に関するものを示しています。